

<感染性胃腸炎の流行について>

2022/01/12 (水)

先週あたりから**腹痛・嘔吐・下痢**などの消化器症状のみられるお子さんが増えています。感染性胃腸炎は感染力が強く、子供だけでなくあらゆる年齢層の方に感染します。お子さんとご家族の体調管理と感染予防のご協力をよろしく願います。

登園前の健康観察をお願いします。

①いつもと違った様子はないか

(腹痛や食欲不振はないか、機嫌が悪くないか)

下痢や嘔吐をしている場合は、無理をせずゆっくり休養させてください。

②感染性胃腸炎の疑いがある場合、早めの医療機関受診を心掛けてください。

ご家庭でできる感染対策として以下のことを行ってください。

①便や吐物には大量のウイルスが含まれています。直接さわらない、吸い込まないために**手袋の着用、マスクの着用**をしましょう。便や吐物を処理した後は、空气中にウイルスが停滞しています。**2 か所以上の窓をあけて換気**を行って下さい。

②普段から外出後、トイレの後、食事前には**手洗い**をしっかりと行ってください。胃腸炎の疑いがある場合、**タオルの共有は避けましょう**。
吐物や排泄物で汚染された衣類は別にして消毒、洗濯しましょう。

③症状が治まってからも、感染後通常 1 週間、長いときは 1 カ月ウイルスが便の中に排泄されるので感染対策を継続して下さい。

わらしこ保育園